

空を見あげて

9月の声を聴く季節に向かい、残暑のうだるような暑さも徐々にかげりを見せ始めました。コロナ禍で、皆様の健康を守る為とは言え、敬老会でもたくさん先輩との再会が果たせなく本当に残念です。でもそのことによって老いを敬う事の本質について向き合う時間をいただいたと思ひ直しました。老いというものは、常に「劣化、衰弱、衰え」として否定的な視線にさらされる傾向にあります。でも本当にそういうものだけなのでしょうか。衰えてゆくものと対照的に、死が訪れる最後の瞬間まで、成長を遂げるものがあるのではないのだろうかと思はれています。そこにもしかすると、敬老の神髄が秘められているのではないかと感じるのです。遺伝子の乗り物としての先祖や、社会の先駆者としての功績を様々に敬うと同時に、わたしたちの誰もが向かって行く先に、アンチエイジング(老化防止)だけでない価値の世界が広がっている事を予感しています。

町長 田中 一典

モー突進レポート

翔 SHOWN TIME たいむ

vol.15



笹尾翔大です。活動を自粛していた多くのサークルなどが活動を再開しています。今回は卓球連盟の活動に参加させていただき、卓球を楽しむことができました。

卓球は学校の授業でしか経験がない僕はネットの張り方もよくわからず教えてもらいながら設置をしました。早速練習を開始。最初は、慣れるためにラリーが続くように優しく相手をしていただきました。ただラケットに当てて球を返すだけなのですが、空振りしたり相手に返せなかったりとなかなかうまくいきません。会員の奥井さんからアドバイスをいただきながら練習を続けていくと少しずつ上達していきま



した。休憩を挟みつつも2時間卓球を続け、沢山汗をかき、気分もリフレッシュすることができました。様々な年代の方が卓球を楽しんでおり、スポーツを通じた世代交流を身をもって体感させていただきました。みなさんありがとうございました。試合の後半はもうワクワクでした。...



「卓球連盟」

来る球について行くのがやっとなりました。これが卓球の難しさであり、面白さかと体感することができました。夏休み中の中学生たちも来ていました。学校が休んで力が有り余っているためかみんな元気いっぱい。段々と卓球に慣れてきて、安定して打ち返すことができるようになってきた僕は負けていられないと試合形式で対戦しました。ようやく順調にラリーが続くようになったのですが、力強いスマッシュには全く対応することができず無念のボロ負け。...



試合の後半はもうワクワクでした。...